

□第1回 神戸文学賞受賞作品

連載 4

# 島之内ブルース

田麿 新

え／中西 勝



「大人はずるいよ。ああいえばこうと、理屈で押し返してくるからな」

ボクは、このまま二階へあがつて勉強する気になれな

い。膝をかかえて、柱にもたれてしまふ。親父は、そんなボクにかまわず、川島さんに昔ばなしをはじめだす。

「こんどの橋計画の上流に橋があったんだ。この堤防の

嵩あげに邪魔だといってわざわざ取りこわした」

「いつごろのことです」

「私の子供のころだが、その橋の上から、みな川へ飛びこんで泳いだもんだ」

親父は眼をほそめる。川水を頭にかぶったように掌で顔をなでる。

「そのもつと昔、この地が新地のころは、橋をもつと架けてくれといつて県や大臣へ日参したそうだ」

「また極端な時代があつたんですね」

「廊の灯を消したらならんという寸法や。大昔から淀川を京へのぼる河口だから、舟泊りしている客を相手に賑わった。この遊女は情が細やかで有名になり、お客がふえてきた。舟だけじゃ間にあわなくなつてきた」

ボクが仏壇のなかから先祖代々各霊祭簿を調べた範囲では、親父の曾祖父は天保年間といえは、大飢饉と一揆の連続。それ以前の先祖は判らない。その曾祖父はいくつまで生きたのも不明。家出か、それとも獄死？その妻とその息子の妻も、ともに二〇代で死亡している。しかし、親父の母は八十三歳を数え、母方の若死を穴埋めするかのように長寿をまつとうしている。父方の職業は葬儀屋が屠殺業でなかったのか。どうでもいいが。

「人の往来も舟だけの時代から陸に変つてきた。ところで、さっきの橋の話になるんだが、橋を架ける意味が、単なる交通の便利さだけじゃないんだな」

「橋を庶民のものにする市民連合」というのも、そこらの訴えがあるわけですね」

「そう、島之内のような中洲の地形は特にそうだった。女郎買いに人が集まる。喧嘩はつきもの。テキ屋もはびこる。これらの内紛を橋で截止めにする。つまり、橋が無銭飲食、女郎の夜逃の防止をかねる検問所に早変わりしたんだ」

「彼女らにとっては橋は、正に自由への道か。でも一面怖い関所だったんですね」

「とすると、親父の立場は、自警団つてわけか」ボクは

口のなかで呟くばかりだ。

この川向うの低い地形は地盤沈下で街が海に陥没した追われた町民は彼岸へ引越してきた。数十年前までは海の中に電柱が杭のように並んでいた。それが埋立地になり工場団地や石油基地がやってきた。屠殺場も引越し、肥料工場に。遊廓が廃止になり、零細工場が割りこんできた。新地はアパートやマンションに変貌した。

亀さんが一週間ぶりにやってきた。いみじくも路地裏に白いベンツが駐車している。彼は自動車のバックミラーを持ってきた。その取りつけ作業をいまずぐ開始するという。

「覗くのはオレやけど、いま居るときにすれば敵に手の内を見られてしまう。窓はおろか、雨戸でも閉められたら、何をか云わんや」

「じゃ、もつとちがう部屋探せばいいんや」

北側は川島くんの部屋だし、そのうち新婚になつても、まだ先の話だ。亀さんは、ボクの説に折れて、二人の留守の間に取り付けることに決める。ボクらは釘やハンマーの道具を目の前に手持ち無沙汰。

「昔、女郎屋、いまアパート業か。変つたといえばテラ銭が決まつたつてことやな」

亀さんは鼻くそをほじくり、鼻毛をぬくと、ひろい額にシワを寄せた。亀さんに刺戟され、アパートの数世帯の夫婦生活に興味がふえる。いままで気にならなかった他人の窓の灯りが、にわかに時間つぶしになる。オレンジ色の電気の傘。窓ぎわを低く照らす赤いスタンドの灯。西階段きわの夫婦は結婚十年だが、子供がいない。軒先に鳥籠をぶらさげるとき、派手なネグリジェのままだ。窓の棧にかけける脚が丸見えになる。どうみても下腹に、いつもうつすらと汗が染んでいる感じだ。

白いベンツ氏をいまだに見たことがない。知らない間にくて、気づかれないようにベンツとともに消える。相手の女は、着物でお粧しをすると夕刻にクラブにでかける。道路で出逢つても、適当にすまし顔。それでいて、

ボクを知っているらしくやさしい眼で挨拶に似た態度ですれちがう。あの何気ないそぶりが、つましく女らしい。日曜日もカーテンを開け、めつたに部屋を開け放さない。軒に洗濯ものを干したためしがない。

その西となりは、いかにも新婚だが、共稼ぎで、そんな雰囲気は見せない。堤防を散歩したり、駅前へ買物にでかける姿を見るぐらいだ。土曜日の夜は、いつまでもテレビの深夜放送でも見ているのだろうか。

亀さんは双眼鏡であたりを見ているが別に変わったものが見えるわけではない。

「男の立しよんじや、味気ないな」

そこへおふくろが抹茶を持ってきた。お茶の稽古で甘いものがあるからだと部屋に入ってくる。亀さんは急に改まり正座する。丁寧な挨拶が滑稽なほどだ。

「そういうお茶を自分も飲みたいと思っておりました」  
おふくろは笑をたたえ、亀さんの茶碗を持つ手つきを見ていた。

「どこの学校をめざしていらっしゃるの」

いつもおふくろの話題はこれだ。ボクはおふくろの肘をつつく。

「いえ、恥ずかしながら、その方はいっこうに身が入らなくて」

亀さんは頭をしきりにかいた。ボクはおふくろを早く階下へ戻そうとしているのに、亀さんは突然口をきいた。

「奥様、いやお母さん、昔、このあたりで『しのめ』という店がなかったでしょうか」

おふくろは、ふと顔をあげ亀さんを見詰める。

「いいえ、父がよくその店へあがつたと、冗談やら本当やら判りませんが、聞かれていますのう」

「その店は、西の大通りきわのマンションの跡でした」

「その店に、こぎれいなおかみさんがいて、何かと世話になったとか。この間、こちらに寄せてもらった話を帰ってしたものですから昔を懐しんだのでしょうか」

「お父さんは、お元気なんですか」

「もう、しよぼくれています。ここのお父さんみたいな、人のためにでも身を投げだそうという気は、とても持ちえないでしょうね」

おふくろは、深くうなづき眼をほそめている。

「みんな、あの歳では、それがあたりまえですよ。うちの父さんが少し変っている人ですから」

おふくろは、わざとボクの方をみて溜息をもらす。膝の上においていた掌で、膝をたたくのを合図に立ちあがると部屋を出てゆく。

「家号まで、よう覚えられるもんやな」

「決まっているやないか。男はどんなに歳をとっても初体験は忘れんもんや」

ボクの家は、果してどんな家号だったのかおふくろに確かめるすべはない。

夕方になっても隣りの部屋は出かけない。夜飯でも食べていかないと亀さんを誘ったが、帰るといふ。ボクも駅まで送ることにする。そのついでに清ちゃんに逢いたくなった。亀さんに彼女を紹介する気はない。家を出ると、亀さんはお前はまだ童貞かいと訊くから、そうだと答えてやった。亀さんは、それ以上何も訊かなかった。

駅前で彼と別れ、市場のなかの花屋の前を通る。大きな樽に投げこまれた花は数が少ない。父親が水をながしながら床をみがいていた。清ちゃんは見えない。ボクはそのまま市場の角のパン屋の前まできていた。そのとき後から清ちゃんが肩をたたく。

「お店に寄ってくれたの」

「いや、ちよっと前を通っただけや」

「そう、勉強はかどっている」

清ちゃんの眼がいきいきしている。

「まあね、ちよっと喫茶店へ入らないか。つきあえよ」

「ほんの十分間だけよ。すぐ店番をしないと叱られるから」



喫茶店に入っても別に話題はなかった。ボクはこの間の夢のことを話してしまっていた。急に空気が薄くなり、酸素がなくなる話までは、おもしろおかしく話せたが、キミもボクも死に絶えようとしている、そして、清ちゃんを抱き締めるところまでは、打ちあけられない。

清ちゃんは明るく笑いこがる。

「相変らず悲劇的な話が好きね」

笑いながら別れてしまうと次の約束もできずにいる。

ボクは帰り道に――

「来年の春までね。もう十カ月もないわ」ちょっと寂しそうな眼でボクをみつめる清ちゃんの瞳が気がかりだった。

家へ帰りつく。おふくろが玄関まででてきて、ボクを急立てる。下駄をぬぐ間も待ちきれないらしい。

「あの人、歳はいくつ」

「二浪といっていたが」

「ませているんだね。気が遠くなりそうだよ」なにをそんなにあわてているのか判らない。

「父と子で、もう女郎屋に上ったことが平気で話し合えるのだから」

「そんなこと、いいじゃないか。あいつの父さんが開けているんや」

「いや。あの人と交際するのをやめて」

「女じゃあるまいし、そんな心配はいらないよ」

「いいことはありません。ひよっとすると、同棲しているんじゃないかしら」

ボクは、亀さんが夕方にむらむらするといっていたことを思いだし、そのことを打消す。

「そのうちにあいつ、お父さんと探訪にくるかも知れないよ」とおふくろをおどしておいた。ボクはそれよりも二階へ上って、ミラーを取り付けなければ。となりの部屋に灯はなかった。路地裏にベントツもない。作業は小窓から鉢を乗りだし、難行をきわめる。釘を打ちこんじて、親指を打つ。この角度で部屋がよく見えるのか。カ

「テンの部屋は外燈の灯りで後退し、窓は縮小してしまった。これじゃ、もっと拡大鏡がほしいところだ。」

それから一カ月ほどして亀さんが、どこからカッパラってきたのか道路標識の大反射鏡を風呂敷にくるんで持ってきた。例の便所の廂につけたバックミラーの効果がなかったせいだが、二階の小窓から設置場所を調べても適当な所が見つからない。結局、裏庭の生垣の外。外灯のある柱にくくりつけるしかなかった。二階から見える範囲は、路地裏を通して堤防へ出る人影が見える程度だ。覗きの欲望を充足する手だてにはほど遠い。ところが、の反射鏡が思わぬ役に立つことは、ボクらも気づかなかった。

梅雨明けとともに「橋を庶民のものにする市民連合」に急激な異変が起こった。新たな橋建設による通過トラックの公害調査。環境アセスメントによる地元住民の承認に関する陳情に対して、駅前商店街の有志たちが、橋の早期促進の陳情書と同じく市長宛に提出したことが判った。署名の数では、圧倒的に商店街の方が多数だった。市議会の決議も多数決で採択されてしまう。その前後の市の説明会とは並行線をたどる。市当局は公害の増大を認めはするものの、もっとひどい環境地域との比較論をふりまくばかり。一方、公共性の欺瞞を突いても、賛成派の住民が多いことで押し切られる。町内の世話役が召集され、ああでもない、こうでもない議論の末、ひとつの結論に向う。

「予測はしていたが、こんなに強行するとは考えが甘かった。こうなると測量を実力で阻止するしかない」と親父のきびしい声。

「駅前の花屋とか肉屋、それに靴屋も牛乳屋も情報は知らせてくれたが、どうも遅かったです」川島くんらしい。「商店街に対して、いままさら不買運動をする市民連合を結成しても間に合わないな」は島本さん。

「事前に知らされても、数の上ではどうにもならんわい」とは、沼田のおじさん。

「これには、市や保守の議員が裏面工作を企んで、われわれをつぶしにかかったのかも知れません」と川島くんが推測している。

「十分考えられる」

「こないなったら、坐り込みでも何んでもやったら」

「そうなれば、内部の結束が大切ですよ」

「坐り込みの初日に住民決起集会をやろう」

そのための準備やスローガンを、各人が喋りまくる。部屋を出て堤防でくらしをはじめよう。円陣を囲む学習会。涼み台の床片を持ちだして将棋を打つ会。内職の幹旋で資金稼ぎを。廃品交換会。退屈しのぎに小咄を語るグループ。座禅をくみ、雑念を捨てるグループ。花火大会はいかなもんじゃないやろう。映画会もよろしおますな。ボルノでも、ボカシのないフィルムをみる市民連合を。

話しあわれたすべてをボクが記録したわけではない。

翌日からさっそく行動が開始され、その日のうちにテントが立てられた。雨のシミで汚れ、何年ぶりに陽にさらされたテントは消防団の名が入っていた。

「旧町内の古いやつじゃ。暮れの夜警用に作ったのだろうな」

「そのころ、外に立つ女郎が掌や股をあぶりにきていたんじゃないだろうかのお」

沼田のおじさんとその隣りのご隠居さんがやりあっている。集会の前に婦人会の手で炊きだし一号がリハールされ、ニギリめしが盆に積みあげられる。堤防きわには、女性用の便所も設けられる。集会は午後にはじまり、日傘の列で堤防の上は彩られた。測量がきょうにでも開始される噂だったが、市の街路課は誰も出てこない。闘いはこれからだ。いつまで続くかわからない。団結がいちばん力強い。疲れがでないように鉢を鍛えておこう。シュプレヒコールが風にあらわれて聞こえてくる。坐り込みの当番制が決められる。婦人会は午前中。午後は夜勤の多いホステスさんたち。夕方から夜は旦那さんたち。お年寄りたちは好きな時間帯にどうぞ。(つづく)

# ニュース漫画を描き続けて7000回 〈20年〉

〈神戸新聞“笑点”〉

## たかはしもう笑品集

発売中

### ●田辺聖子さん激賞

「孟さんのマンガの特徴は、第一暖かいところがよい。

時として彼の時事マンガに、するどいブラックユーモアがあつて、よく諷刺がきいているが、それでも次の瞬間、ニヤリとさせるところがある。私はこれは、古川柳の味わいで、こういうのこそ、オトナの笑いというものだろうと思う。孟さんの人生キヤリアが出てくるため、こういう味わいは、老来ますます冴えるはずだ。これからの孟さんのマンガがたのしみになるゆえんである。」

★内容	「最新カラーマンガ」	9頁
	「笑点20年」	36頁
	「似顔絵100人」	54頁
	「ニュースマンガ家的一天」	4頁

¥2,500 (送料  
200円)

お申込み 「たかはしもう出版会」

神戸市生田区東町113ノ1 大神ビル7F 月刊神戸っ子編集部 TEL (331) 2246

送金方法 太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金 1152704 「たかはしもう出版会」

または月刊神戸っ子あてに現金送金ください。





ライセンスとって  
良いお嫁さんになるの  
佐藤 優子さん

三月に一緒に甲南大学を卒業した彼と、この秋大恋愛が実ってゴールイン。「彼の実家はお商売しているので私に免許は絶対必要なの。車の運転？ちょっとこわいけど彼が横に乗ってくれるから。この学院も以前彼が卒業して勧められたのよ。」とのろける彼女は春風のように爽やかな美しいお嬢さん

●ライセンスローン開設/  
公安委員会指定・技能試験免除

**神戸自動車学院**

☎ 581-1207 (代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号  
(神鉄山の街下車)



■スタッフ紹介 / 山本英雄さん (指導員三係長)

「自分でハンドルを持つ人の方が却って車の恐さをわかっているようですよね。」と語る山本さんは勤続15年目。無類の車好きで教習車の手入れにも余念がありません。



# baLon collection series

## 〈48〉 独楽

笠原 健さん

〈朝日放送株式会社勤務〉

飾り物にすぎない収集よりも実際に手に取って楽しむことができる独楽——と語る。その二十年來の収集を集大成した。全国各地三百種千五百個にもなる独楽を、押入れの中から取り出して仲間が製作した六百枚の写真集が左のアルバム。あと、一つひとつに解説をつけていくことが残っているが、それは大作業。

独楽と話しをする合い間にコーヒーブレイク。一段と頭が冴えるそうである。

センター街店にて  
カメラ / 米田定蔵



# バロン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店  
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店  
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップセンター街店  
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄

# 神戸のうまいもとドリンキング

## ★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭  
舞合区旗塚通7-5 ☎ 231-6300  
トアロード店 ☎ 391-2538  
兵庫駅前店 ☎ 579-5306

北海道郷土料理 蝦夷  
生田区中山手通1-115東門前東門会館ビル1F ☎ 331-7770

和食くれない  
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494

鍋も・おむすび 味西  
お茶漬・がばた 生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848  
三宮さんちカタウン ☎ 391-5319

たこ焼たちばな  
三宮センター街(旧博覧) ☎ 331-0572

とうふ料理 東家  
生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび ふる里  
鍋も 生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かっぱう吉本  
生田区加納町3-95-1(ニュージャパニ別館前) ☎ 241-3450

## ★西洋料理

レストラン アポロン  
ティー・バーラー 舞合区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン 鹿鹿 皮くあらかわ  
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547・231-3315

ピザ&スナック ガルの店  
舞合区琴崎町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

ステーキハウス グリル青山  
生田区中山手通2-112-2(トアロード) ☎ 391-4858

レストラン クィーンズコート  
生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ&ドリンクス 神戸館  
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F ☎ 321-2955

スカンディナヴィア料理 と世界の民族音楽の店 ゴックスタッド  
生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON三門  
生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Cafe et Restaurant アンドウトワ  
レストラン 生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639  
スイーツシャレー 生田区北野町3-48アールドマンション1F ☎ 221-4343

レストラン セントジョージ  
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン 男爵  
生田区中山手1-18 山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 ティファナーナ  
生田区中山手通1丁目4-12 パールコーポラスビル1F ☎ 242-0043

maison de la mode 花屋敷  
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-0315

ピザ・パブ ビザ・パテオ  
生田区元町通1-49(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ビストロドゥリオン  
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ピッツアハウス ビノッキオ  
生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナイト レストラン 火の鳥  
生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ポリネシア料理 海賊焼  
生田区中山手通1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン フック東店  
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

レストラン ムーンライト  
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月  
☎ 331-2509

レストラン フランス料理  
元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス れんが亭  
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段  
生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 プラメンコショー ロス・ヒターノス  
生田区下山手通3丁目22 下山手セントラルハイブ ☎ 391-5431

レストラン フック神戸店  
生田区第2 2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ 凱旋門  
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F ☎ 321-3378

ジュニア料理  
スライスレストラン

ぶ は ら  
生田区中山手通1丁目19 アーバンビル1F ☎ 241-2017

ボロニア風 カブリオ  
生田区中山手通1丁目19 アーバンビル1F ☎ 391-5206

サバー&れすとらん 島津  
生田区元町通2-14 加地ビル3F ☎ 391-5700

★喫茶  
ティー&スナック エボック  
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫茶 ガーデニア  
生田区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

宮水のコーヒー にしむら珈琲店  
中山手店・生田区中山手通1-70 ☎ 221-1872・231-9524  
センター街店・生田区三宮町2-35 ☎ 391-0669  
北野店・山本通2-9 ☎ 242-2467  
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

コーヒースポット メディタレーニアン  
生田区北長狭通3(トアロード)アーバンビルB1 ☎ 331-2050

珈琲 モーツアルト  
生田区山本通2-98グランドマンション1F ☎ 241-3961

フレンチナブル キングスコート  
生田区山本通2-111 キングスコート内 ☎ 242-7090

ティラウンジ ベントハウス  
生田区山本通2-111 ☎ 242-7090

珈琲 飛鳥  
生田区三宮町2丁目25(トアロード) ☎ 391-1589

★club  
e l u b 飛鳥  
生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627

e l u b 小万  
生田区東門前島ビル3F ☎ 391-0638・4386

e l u b さち  
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

クラブ 千  
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

e l u b なぎさ  
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

くらぶ ぶーげん  
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F ☎ 331-8593

e l u b Moon Light  
BAR ☎ 331-0886・391-2696  
Club ☎ 331-0157

クラブ ふらん  
生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

★STAND & SNACK  
PUB & RESTAURANT アップランド  
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サロシアルパトロ  
生田区中山手通1-24-7 大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス  
生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

C A F E WHISKY 音楽の家・ETエトワTOI  
生田区三宮町3 三宮センター街西入口 スカイトービル3F ☎ 332-1755

純会員制 エドワーズ倶楽部  
生田区北長狭通1-28 ホワイトロースビル5・6F 生田新道 ☎ 391-3300

S N A C K L & M  
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1 ☎ 331-3070

ナイトイン おしゃれ貴族  
生田区中山手通1-24-7 大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック 蘭の花  
生田区中山手通2丁目30-1 東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455

スタンド かてな  
生田区中山手通1-90 英健ビル1F ☎ 331-1316

本店洋酒の店 キャンティ  
生田区北長狭通2-3 ☎ 391-3069・391-3010

北店スーパとパンの店  
生田区下山手通3-8-9 ☎ 331-3961

スタンド グラムール  
生田区山本通2-60パールライフB1 ☎ 242-1977

スタンド くる実  
生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サロシ 神戸時代  
生田区中山手通1-28 モンシャットコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴオイ  
高梨山側 千の店北 ☎ 331-2615

スナック 聚利  
生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

スナック 山荘  
生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot サントノール  
トアロード店 生田区下山手通2トア・ワード ☎ 391-3822  
北野店 生田区中山手通1-24-7 ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナック レオバルド  
生田区中山手通2丁目30-1 東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK スネカジリッ子  
生田区下山手通2 永見ビルB1 ☎ 391-8708

Wine and something 珍地理屋  
生田区中山手通1-24-7 大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

蕎麦 舌洞でっさん  
生田区北長狭通1-25 ☎ 331-6778

スナック ビジービー  
生田区中山手2 ☎ 391-4582

ワイン&ティー レストラン バランタイン  
生田区中山手通2-101 大洋ビル2F ☎ 321-5677

居酒屋 ボルドー  
生田新道浜側中央KCBビルB1 ☎ 331-3575

STAND マシユケナダ  
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F ☎ 331-5587

サロシ バレ小娘  
生田区加納町4丁目神三ビル2F ☎ 332-1098

スナック 興志務楽亭  
生田区山本通2-60パールライフB1 ☎ 242-1977

ティー&カクテルラウンジ ルカカルトン  
生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

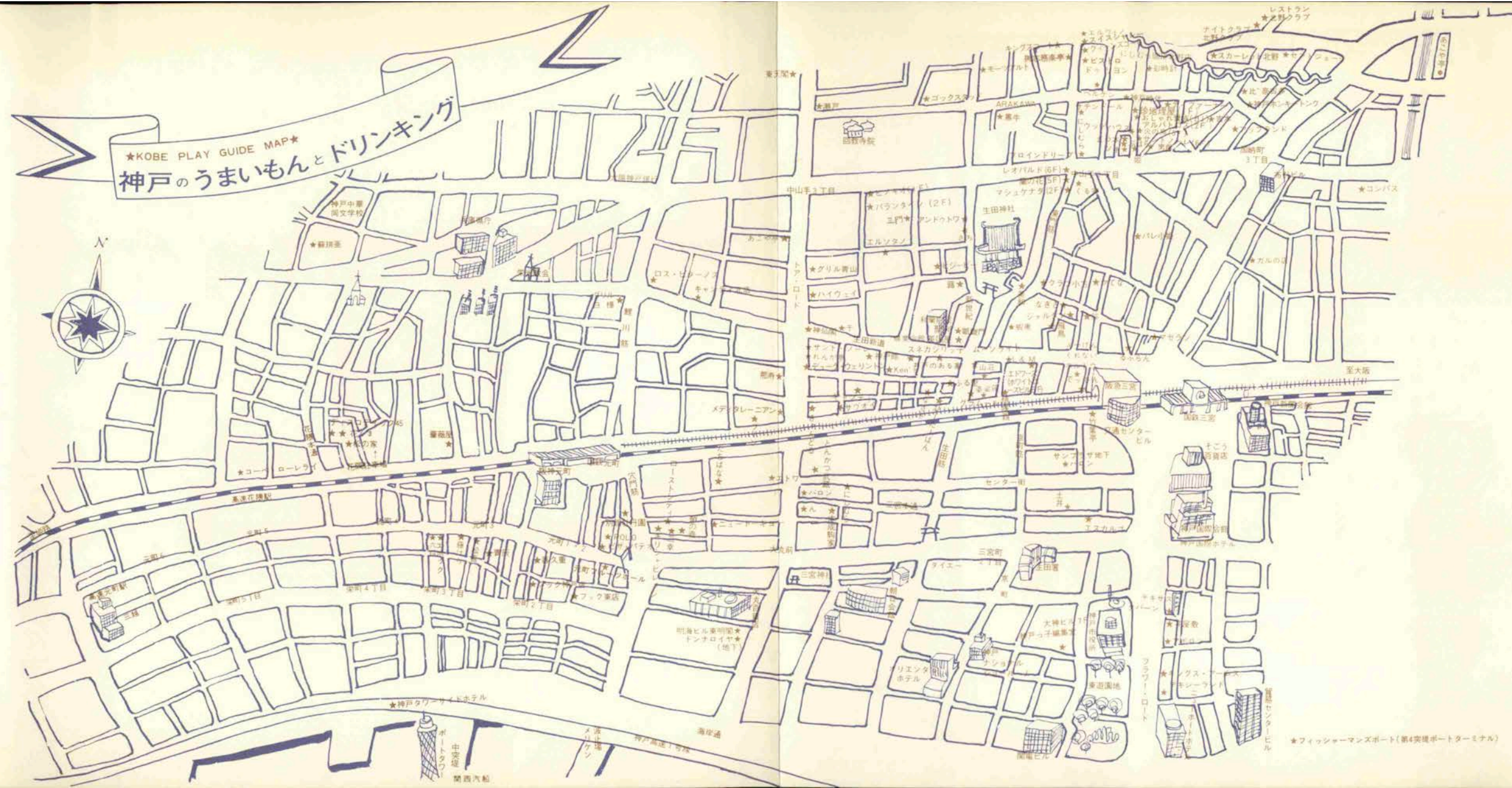
ウエスタンパブ 神戸ホンキートンク  
生田区加納町2-30 ☎ 241-2161

バーラー サンデリカ  
生田区中山手通1-90 ☎ 392-1434-6

ラウンジレストラン コンパス  
舞合区二宮町3-12 大西ビル2F ☎ 242-1236

★KOBÉ PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん＆ドリンキング



★フィッシャーマンズポート(第4突堤ポートターミナル)

Jardin room  
女子大生集合! 〈2〉 山手女子短期大学



## 私たちの美声に 雲雀もビックリ

神戸山手女子短期大学コーラス部

歌うことよりも集まってコンパを開き  
仲良くすることに重点をおくクラブ。こ  
の店は見晴らしが良くて気持ちいい。思  
わず口ずさみたくなるわ。

写真は左より 藤井史子さん、戸田苗美さん  
西村紀美さん、三島麗子さん、山川曉美さん  
坂本みつるさんです。



TEA & COFFEE

# ジャルダン

楠 公 前 店 ☎351-1149  
大 丸 店 ☎321-5257  
サンこうべ店 ☎351-6032  
中 山 手 店 ☎331-6680

ジャルダン大丸店





「北野町を散歩した後で、若さいっぱいこの店に寄るの。ジャズの生演奏が素敵」と晴実さんとみゆきさん。

ジャズ ライブ

**SATIN DOLL**

生田区中山手通1 ☎ 242-0100 無休

5月9日  
アンバートン来演  
チケット発売中



シックで落ちついた雰囲気どこかメルヘンの世界を感じるジュテームが、気軽に歌えるお店になりました。

*Je t'aime*  
ジュテーム

生田区中山手通2 東洋ビル2F  
☎ 391-3746 日祝休



店内を改装しました。ロス・ティファナの歌声とともに開放的で熱気あるメキシコの香りをお届け致します。

メキシコ料理の店

**TIJUANA**

生田区中山手通1 ☎ 242-0043 無休



おかげさまで三周年を迎えました。今後とも飲んで歌っての楽しいお店としてどうぞお立ち寄り下さい。 景子  
喫茶・スナック

*望* たで

須磨区菊池町2・ダイエー板宿店山側入る  
☎ 732-7815 無休

● I Remember April, and I'll Smile

LOVELY APRIL

# NIGHT IN KOBE

●四月の風にゆられる神戸の夜



春の酒は優雅な雰囲気です。楽しく味わいたいもの。きさくで話題の豊かな美人たちがあなたのお酒のお相手に。

SNACK & NIGHT SPOT

ラベ コンスタンタン

生田区中山手通1 マリンビル地下 ☎ 332-1019  
第一、三日曜休



「若いマスターとママの歓待につい足が向く。そのアットホームな雰囲気は私たちのいいこの場としてくれる」



LEOPARD

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F  
☎ 391-0992・2125 第3日曜休

神戸ロータリーのメンバー 左から 石本正孝氏 門田允克氏 入江清一氏



ゆったりとした気分で飲みながら食事ができるパブレストラン JUN。2階はパーティにもご利用いただけます。

RESTAURANT & LOUNGE

JUN ジュン

西宮市小曾根町2-4-27 ☎ (0798) 41-0658 第1、3日曜休



仕事の疲れを忘れて歌って下さい、飲んで下さい。歌声でいっぱい阿羅仁がハッピーな夜をお約束します。

スナック

阿羅仁 あらじん

生田区中山手通1 ☎ 391-0865 無休

# しばし、19世紀の昔に想いを馳せて…

さまざまな色のガラス片を繋いで創る  
ステンドグラスの歴史は古い。  
10世紀頃から教会堂の窓飾りとして用いられ、  
人々は五彩の色ガラスで飾られた窓という窓の  
絵画的な優美さと重厚な美しさに魅せられたという。  
そんな一片のステンドグラスが、  
ルー・サロメの壁にある。

ファミリーな集いを大切にする会員制クラブです。



1800年代の英国教会堂のステンドグラス

店舗・レストランなどの限らないプランの提案。

## 表情ゆたかな店づくり

企画・設計・施工承り〈外商部インテリア設計課〉



KOBE  
元町  
三越

電話(078)341-3333

ルー・サロメ 会員募集中



神戸市生田区中山手通2-98-1あなもAビル TEL (078) 392-1251



Snack & Tea

エル・モンテ

瀬区備後町5丁目3-24  
(国鉄六甲道駅南)

☎851-8503

昼はコーヒー専科。気さくで家庭的な雰囲気が魅力の店。ロバート  
ブラウン/キープ4,500 水割400 キリンビール(小)350 コーヒー10:00  
AM~6:00PM スナック 6:30PM~0:00AM 水曜休み



「クラフト・フーの店」  
ドッポ・ドール

芦屋市前田町10-4  
(国道2号線山側)

☎0797(31)8844

30枚で好きな人形の貰えるドールカードが好評で、女性客のボトルキ  
ープが多い。100パイパス(1/4)1,700 ロバートブラウン水割400  
キリンビール(小)380 8:30AM~10:00PM 6・16・26日休み

## Night in April



スナック

ボイン

生田区中山手通2丁目89-8  
(三宮・生田神社西)

☎391-0297

誰もがすぐ常連になる安くて気軽に楽しく飲める店。年3回のキープ  
祭りも好評。軽食あり。ロバートブラウン/キープ6,000 水割500  
キリンビール(小)400 6:00PM~1:00AM 第1・3日曜休み



ポプラ

生田区北長狭通3丁目9  
サンセットビル地階

☎321-2252

オープンして間がないが、明るく、清潔なムードが受けている。陽気  
な店と女性とくつろいだひとときを。ロバートブラウン/キープ6,000  
水割700 キリンビール(小)500 6:00PM~1:00AM 無休



PUB & RESTAURANT

UPLANDS

生田区加納町3丁目  
1-34  
☎241-8271



SNACK

Jave

生田区中山手通3丁目52  
☎321-4928・331-5138

KOBE DRINKING GUIDE

STAND  
C3美

生田区中山手通1-72  
(東門筋北角)  
☎331-6985



DRINKING IS AN ART OF LIFE

WOODHOUSE

生田区中山手通1丁目32  
山内ビル  
☎241-7320・7983

